

きめが細かい粘土質育ち
赤土バレイショの出荷最盛期

4月から5月にかけて、かごしまブランド「赤土バレイショ」の出荷がピークを迎えました。

今年は全国的に収量が少なかったため、例年に比べ高値で取引されたようです。

町内のバレイショ選果場では、連日生産者や運送業者がトラックいっぱいに積み込んだバレイショを運び込み、大きさを別々に選別された後、全国各地に向けて出荷されていました。

本町のバレイショは、きめが細かい赤土の土壌で育ち、表面がきれいでほくほく感が強いとされています。温暖な気候にめぐまれ、風味のある栄養価の高いバレイショです。

写真＝蔵之元